授業科目名・形態	高齢者福祉論　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	今野　修	実務経験の有無	無	開講期	2年後期
科目ナンバリング	W4-1030sR				

【授業の主題】

高齢者の生活を取り巻く社会情勢や高齢者施策の変遷の中で，様々に複合化・複雑化した諸課題が存在することを理解する。その上で，高齢者福祉・介護にかかわる諸制度を理解し，包括的に高齢者の生活支援にあたって必要とされる福祉や介護の考え方を学んでいく。

【到達目標】

1) 高齢者の定義と特性を踏まえ，高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解することができる。
2) 高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷と制度の発展過程を理解することができる。
3) 高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて理解することができる。
4) 高齢期における生活課題を踏まえ，社会福祉士としての適切な支援の在り方を理解することができる。

【授業計画・内容】

第1回　高齢者と少子高齢社会
第2回　高齢期のとらえ方，高齢者の特性，高齢者の生きがい
第3回　高齢者福祉の理念と歴史
第4回　高齢社会の諸問題①
第5回　高齢社会の諸問題②
第6回　高齢者の生活を支える制度と施策①　高齢者対策基本法・老人福祉法
第7回　高齢者の生活を支える制度と施策②　介護保険制度(1) 介護保険制度の概要と地域支援事業
第8回　高齢者の生活を支える制度と施策③　介護保険制度(2) 介護保険サービスの体系その1
第9回　高齢者の生活を支える制度と施策④　介護保険制度(3) 介護保険サービスの体系その2
第10回　高齢者の生活を支える制度と施策⑤　高齢者医療確保法，年金制度，高齢者虐待防止法，成年後見制度，日常生活自立支援制度，育児・介護休業法
第11回　高齢者の生活を支える制度と施策⑥　バリアフリー法，高齢者住まい法，高齢者雇用安定法，認知症関連施策，その他
第12回　高齢者と家族等に対する支援の実際①　関係機関と専門職の役割
第13回　高齢者と家族等に対する支援の実際②　高齢者領域におけるソーシャルワーカーの役割
第14回　高齢者と家族等に対する支援の実際③　事例から考える
第15回　高齢者福祉の課題，まとめ

【授業実施方法】

基本は講義形式で行います。また，第1回・第2回・第14回では課題を提示してデスカッションをしてもらい，その後発表してもらいます。そして，グループ学習による協働的学びを求めたいと考えております。

【事前・事後学習】

講義内容に応じて毎回30分以上の予習・復習を行ってください。

【主な関連する科目】

社会福祉概論Ⅰ・Ⅱ，社会保障論Ⅰ・Ⅱ，障害者福祉論，地域福祉論，貧困に対する支援，エイジング論，高齢者と健康

【教科書等】

日本ソーシャル教育学校連盟編: 最新社会福祉士養成講座２，中央法規出版.

【参考文献】

適宜紹介する。

【成績評価方法】

筆記試験80%、課題レポート提出物等20%により総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

高齢者へのより深い理解が，２年次以降の福祉への学びをさらに魅力あるものにしていくと思います。その一助になるような授業づくりに努めていきたいと思います。共に学んでいきましょう。